



第64回神奈川県合唱祭

2021年6/12(土)6/26(土)6/27(日)、県立音楽堂にて第64回神奈川県合唱祭が開催されました。コロナ禍の影響で無観客でしたが、68団体(76グループ)約1,100名が参加しました。感染防止のため舞台上はマスク着用で20名まで、動線は一方通行で、更衣、リハーサルはなし、ブロック間は換気、消毒のため100分の休憩を取りました。受付時の検温や手指消毒、靴底の消毒等も徹底しました。また、連盟歌の全体合唱やジャンケン大会、「翼をください」の大合唱、メッセージカード等も中止となりましたが、久しぶりに舞台上で歌える喜びがあふれ、同じブロックの出演者が客席から熱い拍手を送っていました。

小中高の合唱講習会も同時に開催されました。成果発表は行えませんでした。約390名の生徒が受講しました。

準備のための実行委員会は対面では一度も開催できませんでしたが、昨年の9月からメールや電話で様々なことを検討して、当日を迎えました。

理事長、副理事長、事務局、理事、事務局員の皆様、そして当日のスタッフをお引き受けくださった全ての方が一致団結しました。まず感染拡大防止、そして参加してくださった合唱団員の方々が2年ぶりの合唱祭を心から楽しんでいただけるよう、それだけを願いました。

参加された皆様には不便なこともあったと思いますが、どうぞご容赦くださいませ。

個人的には、この1年近く多くの方々と協力しながら進めてきたことは、メール・電話会議というより「作戦会議!」のような楽しい時間でもありました。マスクを着けていても、舞台上で歌う皆様の笑顔が、最高のご褒美でした。

来年は通常の運営に戻り、大勢のお客様の前で皆様が歌えることを祈っています。ありがとうございました。

合唱祭実行委員長 山本 美千代

▼ 合唱祭講師

6月12日(土)

片山 みゆき(指揮者)

長久 真実子(チェンバロ演奏家)

山下 祐加(作曲家)

6月26日(土)27日(日)

首藤 健太郎(作曲家)

谷口 洋介(声楽家)

吉田 孝古麿(指揮者)

▼ 合唱講習会講師

6月20日(日) 小学校

6月27日(日) 中学校

三宅 悠太(作曲家)

6月26日(土) 高等学校

上杉 清仁(声楽家)

講師の先生方から感想をいただきました

山下 祐加先生 ◆6月12日

昨今の感染状況からいろいろな演奏会が中止や延期になり、合唱祭に参加させていただくことも久しぶりでしたので、当日はとても楽しみに会場に向かいました。

まず驚いたことは、舞台上の配置、パーテーション、客席の消毒から細かいところまで、感染対策が徹底されていたことです。

それからこの合唱祭がコロナ禍におけるイベントの再開になるとのことで、皆様の思い溢れる演奏の数々に大変感激いたしました。活動の継続や練習にも様々なご苦勞があったことと存じますが、それを乗り越えてこられた皆様の熱のこもった演奏に胸を打たれました。また、マスクをしながらの歌唱はとても大変なことだと思いますが、マスクをしていても良い表情で歌っていることが分かる方、全身から歌う喜びがあふれている方がいらしたことも大きな発見でした。

このような素晴らしい機会をいただきまして、本当に有難うございました。また皆様にお目にかかれます日を楽しみにしております。



山下先生

長久先生

片山先生



吉田先生

谷口先生

首藤先生

首藤 健太郎先生 ◆6月26日、27日

今回、非常に抑圧された条件の中だったにも関わらず、高密度な演奏が多く、マスク越しでも多くの団体が「言葉」を丁寧に伝えていたように感じた。また、合唱ができる嬉しさ、尊さが非常にしみ出た歌声、加えて温かさを感じる演奏がとても多かった。他でもなく、皆さんの「合唱」への愛情の証であると思う。

しかし強いて言うなら、表現力の幅・音色・アクセントやシンクォーションなどの曲調に結びつくリズム・ピアノと合唱のバランス等について、尚もって改善できるとされる団体もいくらか見受けられた。詳細は各団体に渡った講評を参照いただきたい。

無事に開催できたこと、皆様と音楽を共有できたことに、演奏者やスタッフや関係者の皆様に感謝を申し上げるとともに、再び合唱「祭」という大勢の観客と一体となり、歓声の中で楽しめる日が来ることを願う。そして改めて、合唱作品を創作する作曲家の一人として、合唱を愛する人たちのためにも、より良い作品を残していきたいと強く思った。



巨宅先生



上杉先生



高等学校合唱講習会



合唱祭実行委員のみなさん

第64回神奈川県合唱祭 アンケートのまとめ



合唱祭参加団体に記述式のアンケートをお願いしました。参加できてよかったという声が寄せられた一方、舞台上の人数制限のため参加できずに残念だったという意見も多かったようです。

◆ 主なアンケート内容 ◆

久しぶりにホールで歌うことが出来てとても嬉しかったです。また、感染症対策がしっかりとられていて安心して参加することができました。コロナ禍で合唱に逆風が吹いているなかで、このような場を作ってください、本当にありがとうございました。
(10代・女性・大和市)

コロナ禍で行事・大会の開催が困難な中、徹底された感染対策のおかげでここまで来たのだと思う。本当に感謝いたします。発表前に発声のできるタイミングが欲しかった。
(10代・男性・厚木市)

自分たちの演奏ができたのに加え、他団体の演奏も鑑賞できていい機会となりました。コロナ禍でもこうしたイベントで合唱の火種を絶やさないようにしていきたいですね。
(20代・男性・横浜市)

コロナ禍という中で、対策をとりながらこうした場をつくっていただけて、とても感謝しています。可能な範囲で、ぜひこうした場を続けていただきたいです。(30代・男性・横浜市)

皆様の素敵なハーモニーを音楽堂でかかせていただくことができ、うれしく思いました。現在も合唱を愛する者にとって大変厳しい状況ですが、実施の判断、対策と運営の皆様に感謝いたします。昨年度は全てのステージ出演が中止となり、久しぶりのステージになりました。子供達にとって、貴重なステージとなりました。ありがとうございました。マスクなしで発表ができる日を心待ちにしています。
(40代・女性・横浜市)

生のステージ、やっぱりステキでした。それぞれの団体がこのコロナ禍でも今日に向けて一生懸命練習して臨んだ姿にとっても感動しました。合唱祭にたずさわる全てのみなさま、感染症対策を徹底した開催、本当にありがとうございました。
(50代・女性・横浜市)

コロナまん延防止措置のなか、スタッフの方々の行き届いた対応に心よりお礼申し上げます。マスクを付け合唱するなどという経験は、貴重な思い出となることでしょう。歌う喜びを深く感じられ、6分間のステージ、幸せいっぱいでした。ありがとうございました。
(60代・女性・横浜市)

◆ 主なアンケートの集計結果 ◆

共通的な感想(主なもの)

	男性	女性	合計
新型コロナウイルスの感染対策が万全でした	8	26	34
久しぶりにホールで歌える機会を設けて頂き感謝	10	18	28
幅広い年代の他団体の合唱が聴けて良かった	6	17	23
スタッフの進行が的確で、安心して参加できた	4	8	12
他団体のレベルの高い演奏が参考になった	1	3	4

課題となる感想

	男性	女性	合計
リハーサルをしたかった	1	3	4
マスクの着用は厳しい	1	2	3
進行がもう少し早くてもよかったのでは	—	1	1
座席表を事前にほしかった	—	1	1
今回は「祭」の要素がなく残念	1	—	1

第64回 神奈川県合唱コンクール

8月18日(水)、21日(土)の2日間、第64回神奈川県合唱コンクールが開催されました。昨年はコロナ元年で、様々なイベントが中止となり、合唱コンクールも「リモート合唱コンクール」と言う形でYouTube上での開催でした。今年は文化庁の方針を基に、リアル+音源(感染状況等によって急遽参加できなくなった団体は会場で音源審査)で、いま流行りの二刀流開催となりました。

人数制限の無い会場を探し、初日は横浜市戸塚公会堂にて小中高等学校部門31団体、2日目はもみじホール城山にて大学職場一般部門8団体(シード含む)で行いました。

当日の主な感染予防対策は、手指消毒・検温はもちろん、演奏時を含み参加者全員が常時マスク着用、ステージ上では距離を取って並び多数の団体はステージ下も使用して演奏、無観客開催などです。また、動線を一方通行として他団体との接触を無くし、参加団体には最小限の滞在時間となるようご協力いただきました。

不安や心配事もたくさんありましたが、当日は皆さまのご協力で、スムーズに会を進行することができました。コロナ禍での活動は苦勞も多かったと思いますが、どの団体も熱い想いととも、見事な演奏を披露してくださいました。特に学校団体は、全31団体が会場にて演奏してください、この機会を生徒さんたちも喜んでくださったとのこと。やっぱり音楽は生がいちばん!ですね。

今回は異例のコンクールでしたが、この経験を今後に生かし、より良いイベント開催に努めてまいります。そして、感染症の終息と、みんなで声を合わせられる日が一日も早く戻ってくることをお祈りします。

最後に、開催にあたり、審査員の先生方、参加団体の皆さま、スタッフやすべての関係者の皆さまに多大なるご協力をいただきましたことを大変感謝いたします。

ありがとうございました。

合唱コンクール実行委員長 遠藤 智恵子



戸塚公会堂での演奏

審査委員長 鈴木 茂明先生からのメッセージ

毎年当たり前のように練習し、歌ってきたことができなくなった一年半、合唱ファンはどんなに悲しく、辛い日々を送ったことでしょう。

今まで経験したことのない困難を前に、決して諦めず、開催の可能性を求めて試行錯誤を繰り返し、二年振りのコンクールを大成功に導いた神奈川県合唱連盟理事長はじめ、スタッフ全員に敬意と感謝を申し上げます。また、コンクールに参加された団体、指導者の皆さんに大きな拍手を送ります。

当日の客席には、審査員5名と関係者のみ、演奏は全員マスク、会場に集合できなかった団体は音源審査と、従来とはまるで違ったコンクールとなりました。マスク着用で声はどのように聴こえてくるのか、とても訝しい思いでしたが、予想に反し、声とハーモニーはあまり違和感なく届き、細やかな表現もかなり伝わりました。昨年、コンクールに出場できなかった先輩たちの想いも胸に、口元から下がってしまうマスクを引き上げながら、一生懸命歌う中学生、高校生の皆さんの姿は今も目に浮かびます。練習時間や練習場所の確保も儘ならず、慣れないマスクでの練習といった涙ぐましい努力を思うと、出場団体すべてに金賞をあげたい気持ちでした。

新型コロナに翻弄された日々、皆さんは、合唱とは、合唱の仲間とは、演奏とは、コンクールとは、などのいくつかの問いが渦巻いたことでしょう。今後、人との交流を制限してしまうウイルスに負けず、工夫を凝らしながら、仲間と共に声と心を合わせ、一人では絶対にできない豊かな音楽を作り上げていこうではありませんか!



もみじホール客席の審査員

第64回 神奈川県合唱コンクール 審査結果

出演順	団体名	賞	全国大会 推薦団体
◆ 小学校			
1	川崎市立坂戸小学校合唱団	金賞	◎
2	川崎市立南生田小学校合唱団	銀賞	

出演順	団体名	賞	関東大会 推薦団体
◆ 中学同声			
3	清泉女学院中学校音楽部	金賞	◎
4	横浜市立瀬谷中学校 合唱部	銀賞	
5	海老名市立海西中学校合唱部	銅賞	
6	横浜市立大綱中学校	銅賞	
7	厚木市立南毛利中学校 合唱部	銀賞	
8	海老名市立今泉中学校	金賞	◎

出演順	団体名	賞	関東大会 推薦団体
◆ 中学混声			
9	横浜国立大学教育学部附属鎌倉中学校	銀賞	
10	桐光学園中学校合唱部	金賞	◎
11	横浜市立緑が丘中学校合唱部	銅賞	

出演順	団体名	賞	関東大会 推薦団体
◆ 高等学校 B			
12	桐光学園高等学校合唱部	金賞	◎
13	県立湘南高校合唱部	金賞	◎

出演順	団体名	賞	関東大会 推薦団体
◆ 高等学校 A			
14	青山学院横浜英和中学高等学校コーラス部	銅賞	
15	中央大学附属横浜中学校・高等学校 合唱部	銅賞	
16	神奈川県立湘南台高等学校合唱部	金賞	
17	北鎌倉女子学園コーラス部	銀賞	
18	鶴沼高等学校合唱部	銀賞	
19	神奈川県立海老名高等学校合唱部	金賞	
20	県立多摩高等学校合唱部	銀賞	
21	県立生田高校グリークラブ	銀賞	
22	清泉女学院高等学校音楽部	金賞	◎
23	神奈川県立湘南台高校合唱部	奨励賞	
24	相模女子大学高等部合唱部	奨励賞	
25	横浜隼人中学・高等学校合唱部	奨励賞	
26	日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ	金賞	◎
27	神奈川県立麻生総合高等学校合唱部	銅賞	
28	法政大学第二中・高等学校 合唱部	奨励賞	
29	神奈川県立相模原弥栄高校合唱団	金賞	◎
30	洗足学園中学高等学校合唱部	銅賞	
31	慶應義塾湘南藤沢中・高等部合唱部	銅賞	

出演順	団体名	賞	関東大会 推薦団体
◆ 大学ユース/室内/混声/同声			
1	合唱団たまとも 【室内】	銀賞	
2	横浜国立大学グリークラブ 【大学ユース】	奨励賞	
3	TAMA STAR SINGERS 【室内】	銅賞	
4	Healing Friends 【同声】	金賞	◎
5	緑フラウエンコール 【同声】	金賞	◎
6	湘南ユースクワイア 【混声】	金賞	◎
7	合唱団インテグラルズ 【同声】	銅賞	
◆ シード			
8	La Pura Fuente 【同声】		◎

〈2日間を通しての最優秀演奏団体〉

全日本合唱連盟理事長賞・神奈川県知事賞

湘南ユースクワイア

審査員の先生方

鈴木 茂明 (指揮者)
 長久 真実子 (チェンバロ奏者)18日のみ
 藤井 宏樹 (指揮者)
 布施 奈緒子 (声楽家)
 古橋 富士雄 (指揮者)21日のみ
 茂木 宏文 (作曲家)



実行委員の皆さん

イタリア・フィレンツェ
レオナルド・ダ・ヴィンチ国際オンラインコンクール
小田原少年少女合唱隊 & マルベリー・クワイアが準優勝!

2021年7月13日から16日までの4日間、世界各国から25団体が集まって、国際オンラインコンクールが開催されました。

小田原少年少女合唱隊&マルベリー・クワイアが参加し、現代部門1位、全部門総合2位(準優勝)、ベスト伝統衣装賞(振袖着用)を受賞しました。オンラインは自宅で世界各国の素晴らしい演奏を聴くことが出来る絶好の勉強の場です。そして日本の一地方の合唱団の演奏を聴いて頂き、存在を知って頂くチャンスにもなります。コロナ禍後の活動につなげ「オンラインコンクールなんて昔やったね」となる日を待ち望んでいます。

小田原少年少女合唱隊 桑原 妙子

参加国

イタリア、中国、フィリピン、アルゼンチン、エストニア、アメリカ、ウクライナ、インドネシア、クロアチア、イギリス、日本

コンクール部門

混声、同声、ユース、児童、室内、ポピュラー、古典、現代、ヴァーチャル

部門別：7月14日、15日 得点80点以上がグランプリ大会に進出

演奏曲 **Zima (ジマ)** スロヴェニア合唱界の重鎮の作曲家レピッチの作曲
日本の俳人(梶原芭臣、小林一茶、正岡子規)の俳句をスロヴェニア語に訳詞「天も地も見分けられないほどに雪が降り、馬の雄たけびが聞こえる」という内容を、フォーメーションを変えながら、すり足や振袖を振るなどの動作で表現

グランプリ大会：7月16日 各部門の代表による 小田原の得点は90.79

演奏曲 **あかあかや** ミョウエショウニン 明恵上人のことばに 千原英喜が作曲
「なんと美しい月だろう あかあかしい月よ」と愛でる内容を能のような動きで表現する
ことばあそびうた 紀州のことばに 松下耕が作曲
「そがむらの村長さんがソーダー飲んで死んだそうだ」と子供達が遊びながらふざけて遊ぶ光景を、いろいろな動きで表現

《おかあさんコーラス大会について》

◆演奏音源聴取による代表推薦事業

7月3日(土)、4日(日)にザ・ヒロサワシティ会館(茨城)で開催された第44回おかあさんコーラス全国大会に向けた「演奏音源聴取による代表推薦事業」において、神奈川県から以下の4団体の推薦が決まりました。

アンサンブル・ピノ 湘南はまゆう ラ・カンパネラ 緑フラウエンコール (出演順)

◆おかあさんコーラスオンラインフェスティバル

第44回全日本おかあさんコーラス全国大会は、8月21日(土)22日(日)アクトシティ浜松(静岡)にて、開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、中止となりました。

代替企画として、12月に「おかあさんコーラスオンラインフェスティバル」が実施されます。

参加団体の演奏動画や講師の講評映像などを組み合わせた番組が、今年12月に全日本合唱連盟の公式YouTubeで無料配信される予定です。詳細は決まり次第全日本合唱連盟のホームページに掲載されますのでご確認ください。

《メサイア演奏会について》

2021年12月12日(日)に開催予定の県立音楽堂主催「第55回クリスマス音楽会メサイア」は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施見送りとなり、代わりに、オーケストラとソリストによるメサイアの Aria と重唱、クリスマス曲などを中心とした「クリスマス音楽会」が実施される予定です。(合唱は入りません)

また、12月10日(金)には、講師に大塚直哉氏を迎えて、「メサイア・ワークショップ」が開催される予定です。

チケットの発売日、ワークショップの詳細は現在未定。県立音楽堂のHPをご確認ください。

リレーエッセイ No.34 指揮者の『ここだけの話』



指揮者だからこそ味わえる・・・味わってしまうおもしろエピソードを
リレー形式で書いていただく人気のコーナー。今回は 福永 一博先生です。

演奏者と聴衆の間にあるもの

新型コロナウイルス感染症が長引く中、各地で開催されるコンクールも、会場での審査だけでなく、録音審査や映像審査が行われることが普通になってきました。そんな録音審査に立ち合わせていただく中で感じたことを、今回エッセイとして少し書かせていただけたらと思います。

私自身が録音審査をはじめて行うことになったのは、今年1月に行われた埼玉県のアンサンブルコンテストでした。コロナの第3波が猛威を振るう中で、急遽対面審査から録音審査に切り替えて開催され、朝日新聞社の一室で、審査員全員がヘッドフォンをして審査を行いました。審査員の先生方もはじめての録音審査に戸惑っていたことを記憶しています。

録音審査の難しさは、出演団体によって録音のクオリティ自体に差が出てきてしまうことがあります。音割れをしていたり、マイクが適切な位置にセッティングされていないことによるバランスの悪さなど、仕方のないことではありますが、出演団体ごとの音源そのものの差を頭の中で「実際にホールで聴いたらきっとこういう響きだろう」と経験をもとに頭の中で補正しながら、出来るだけ録音条件の差によって審査に影響が出ないようにするのは、特に僅差の実力差の団体の場合は、かなり難しいことでした。

また、録音審査の場合、演奏そのものを丸ごと受け止める、という聴き方ではなく、分析的な聴き方になりやすいということも、難しい点だと感じました。リアルであれば気にならないようなことが、録音だと気になってしまう…。そうした自身の聴き方がなるべく審査に影響を与えないようにと意識するあまりか、普段は一日中聴いていても全く疲れることがないのですが、この時ばかりは終わった後に大変な疲労感があったことを覚えています。

そんな経験をする中で、リアルの演奏と録音の違いについてよく考えるようになりました。リアルの演奏にあって録音にないもの、それは何なのだろうと。自分はふと、それは〈エネルギーの交流〉なのではないかと思いつくようになりました。演奏者と聴衆が、同じ空間と時間を共有して、演奏者から放たれるエネルギーを、聴衆が全身で受け止め、聴衆が発するエネルギーに、演奏者が呼応する。それは目には見えないけれども、音楽を演奏する／聴くという行為の根底に、こうしたエネルギーの交流がたしかに行われている。コロナ禍で対面で行われたコンサートやコンクールで演奏者の演奏を聴く中で、まさに自分は音楽に「生かされている」のだ、と感じることが多くなりました。そのような機会が当たり前でなくなった今、以前よりも切実に〈エネルギーの交流〉を欲し、そして感じているのだと思います。

コロナ禍は中々収束を見通せず、まだしばらくは以前のように演奏したりすることはできませんが、音楽による〈エネルギーの交流〉の喜びを、忘れずに求めていきたいと思っています。



次回は 大津 康平先生にお願いしました。

県連からのお知らせ

◆ かながわユース・コーラルフェスト2021

「横山潤子の世界 ―音符を歌う 余白を歌う―」

個性豊かな和声感と感性が注目される作曲家、横山潤子先生を講師としてお招きし、楽曲の原風景と、横山作品の特色と魅力について 解説していただきます。

日時 2021年12月19日(日) 12:00開場 12:30開演

会場 清泉女学院講堂

*11月中旬に一般の方々への聴講についてHPでご連絡いたします。

カノンコンサートガイド

12/4 (土)	小田原男声合唱団 14:00～ 小田原三の丸ホール 大ホール 小田原市民ホール開館記念「市民優待企画」事業 小田原男声合唱団創立 50 周年記念 第 50 回定期演奏会 入場料:1,000円 お問い合わせ:杉本 090-4677-6315 斎藤 0463-63-3629 http://www.odadan.org 指揮:辻 秀幸 村田 雅之 ピアノ:中根 希子 独唱:杉山 範雄 記念委嘱曲「わき目もふらず。ジグザグに。」信長 貴富 曲
12/26 (日)	Trinity 19th Concert 13:30～ 横浜市磯子公会堂 入場料:1,500円 お問い合わせ:遠藤 090-2722-3538 人気作曲家、土田豊貴氏への委嘱作品「いろどりうた」を初演いたします。

神奈川県合唱連盟の今後のイベント予定 (2021年11月～2022年8月)

- | | | | |
|---|-------------------------------------|-----------------|------------|
| ● | 第27回ヴィサン《人生百歳》ジョイント・コーラスフェスティバル | 11月18日(木) | やまと芸術文化ホール |
| ● | メサイア・ワークショップ | 12月10日(金) | 神奈川県立音楽堂 |
| ● | 第55回メサイア演奏会→「クリスマス音楽会」に変更(合唱なし) | 12月12日(日) | 神奈川県立音楽堂 |
| ● | かながわユース・コーラルフェスト 2021 | 12月19日(日) | 清泉女学院講堂 |
| ● | 第24回かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト | 2022年 1月16日(日) | 神奈川県立音楽堂 |
| ● | 第44回神奈川県合唱フェスティバル ～神奈川県男声合唱フェスティバル～ | 2月11日(金・祝) | 神奈川県立音楽堂 |
| ● | 第40回神奈川県ジュニア合唱祭 | 3月27日(日) | 関内ホール 大ホール |
| ● | 第45回全日本おかあさんコーラス神奈川県大会 | 4月23日(土) | 神奈川県立音楽堂 |
| ● | 2022年度定時総会 | 5月予定 | (会場未定) |
| ● | 第65回神奈川県合唱祭(4日間) | 6月11日(土)・12日(日) | 神奈川県立音楽堂 |
| | | 6月25日(土)・26日(日) | 神奈川県立音楽堂 |
| ● | 第65回神奈川県合唱コンクール | 8月20日(土)・21日(日) | 神奈川県立音楽堂 |
| | (第77回関東合唱コンクール神奈川県大会) | | |

編集後記: 今年は様々な工夫をして合唱祭やコンクールが開催されています。参加された方々は皆、歌えることの嬉しさを実感されていました。まだまだ本来の形ではありませんが、今できることを続けて、希望を持って活動をつないでいきたいですね。(編集長 青山 道代)

神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon カノン」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会

発行責任者 志澤 彰 編集責任者: 青山 道代

神奈川県合唱連盟・事務局

〒231-0021 横浜市中区日本大通 15 横浜朝日会館 4 階

TEL: 045-681-6033 FAX: 045-662-5119

スタッフ常駐: 平日: 月火木金(休祝日を除く) 12:00 ~ 16:00

URL <http://kanagawakenren.la.coocan.jp/>

e-mail アドレス kanagawakenren@nifty.com

